

大人の社会科学16ページ

君は見たか!? 欲望の秋葉原

SEXデパート大博覧会

7階建ビル全フロアがアダルトグッズ。OLがカップルが堂々と...

早くも反響轟々! この男の語る「未来」は一族の「過去」と直結している

あんなに孫正義 第2部 佐野真一

炭鉱爆発事故と原発事故の奇妙な符号

週刊ポパイ

2011 AUG. 8.5

炎暑お見舞い特大号

特別価格 400yen

憂国対談

「本当のことを言つと殺される」

おい小沢

この「瀕死の日本」を見捨てるつもりか

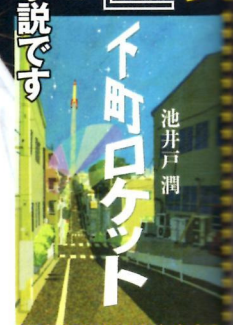
古賀茂明 上杉隆

大反響 覆面官僚座談会 「脱原発キャンペーン」と大メディアの禁断の関係



美人妻の「夜のおねだり」をアイマスクと耳栓で拒否した高嶋政伸 遂に頂点! 「なでしこジャパン」本誌だけが知る「崖っぷち時代」

祝 直木賞受賞 『下町ロケット』



潜入記 原発作業員と「小名浜ソープ」 双葉病院の真実 「死にゆく患者たち」 SONY「テレビ凋落と神話崩壊」

あなたを
癒やす

第258回

医心伝身

ふーん
ナルホド

口腔がんの前がん病変 白板症・紅板症に注意

特定の原因がなく舌の縁や頬粘膜などが白くなる白板症や、紅斑が出る紅板症は、口腔がんの前がん症状といわれる。初期ではほとんど無症状だが、白板症で7〜14%、紅板症では実に50%以上の確率でがん化する。欧米では歯科の診察による早期発見で口腔がんの生存率が改善している。一方、日本では、この30年で患者数が3倍も増加しており、しかも進行がんが多く注意が必要だ。



イラスト/いかわやすとし

口の中でできる口腔がん患者は、日本ではこの30年間で約3倍に増えており、現在、年間約60000人が新たに発症し、約30000人が死亡している。口腔がんの主なもの

は舌がんだが、このほかにも舌と歯肉の間でできる口腔底がん、歯肉がん、口の上側でできる硬口蓋がん、頬粘膜がんなどがある。がん全体における口腔がんの割合は2〜4%と少なく、また、口の中の病気は虫歯や歯周病だけだと思われているため、早期発見が遅れるケースが多い。昭和大学歯科病院口腔外科の新谷悟教授に話を聞いた。

「口腔がんの前がん病変として白板症や紅板症があります。白板症は特定の原因がなく舌の縁や頬、歯肉などの一部が白くなるもので、7〜14%の確率でがん化する病変です。口の粘膜の一部が紅色になるのが紅板症で、がん化する確率は50%以上と高率なので注意が必要です」

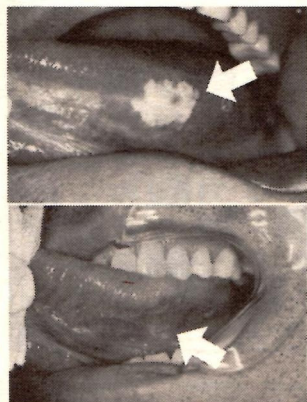


昭和大学
口腔外科
新谷悟教授

「白板症は粘膜上皮の角化異常により白くなるもので、危険因子のため、この病気は中高年男性に多く見られる。口内炎は粘膜が白く痛みを伴うが、白板症は多少違和感はあるが自覚症状が乏しい。紅板症は粘膜上皮が薄くなったもので、粘膜の一部がピロードのような光沢のある紅色になる。男女を問わず発症し、50歳以上の高齢者が全体の約80%を占める。時間の経過とともに刺激痛を訴えることが多い。」

「口腔がんは早期に治療すれば5年生存率は90〜95%と高く、食事や会話などの機能もほとんど障害を受けません。しかし、進行がんでは生存率が約70%に低下する上、放射線や抗がん剤治療を長期的に行なうため、入院期間も2か月以上に及ぶこともあります。口腔がんは早急に発見できるかがポイントです」(新谷教授)

粘膜上皮の角化異常により白く見える白板症(上)と、粘膜の一部がピロード状の光沢のある紅色になる紅板症(下)



(取材・構成/岩城レイ子)